



Weekly Report

青い空 緑の山と風
 黄色のうねりは
 人類の理想 文化を表わす。
 それらが混然一体調和して
 ロータリーの理想に向って
 昂って行く姿を示している。



クラブの標語 **多摩の礎となろう**
 ...I serve の精神で...

◎ニコニコBOX 親睦委員会 小坂 一郎

関岡 俊二…親睦旅行、皆さんよろしくお願ひします。
 山崎 光一…「米山月間」よろしくお願ひします。
 海野 榮一…お茶代の残りです。
 森田 舞子…昨日静岡県浜岡町へ行き、新しい仕事が取れ
 ましたので。なお東名高速より富士山が見えました。
 加藤喜三郎…今回の会報作りに田畑委員長に大変お骨折
 りいただきました。
 小林 和夫…ドリームコンサートへの御協力に感謝して
 おります。
 小坂 一郎…次の移動例会楽しみにしましょう。
 本日合計 金11,800円 (累計 404,317円)

第338回例会報告 (10/15)
 (1997年~1998年度第15回例会)

◎出席報告 出席委員会 須藤 起雄

会員総数 56名
 出席義務者数 54名 (出席免除者2名)
 出席者数 49名 欠席者 5名
 本日出席率 90.74% (49/54)

10/8	訂正出席率	88.89%	(48/54)
10/1	最終訂正出席率	87.04%	(47/54)

司会 SAA委員会 杉野志保子
 ◎点鐘 会長 吉澤 洋景
 ◎ロータリーソング「我らの生業」
 ソングリーダー 津守 弘範
 ◎お客様紹介 会長 吉澤 洋景
 元宇宙開発事業団参事 黒田 泰弘様
 東京多摩RC 丸本 昭吉様

欠席者 猪股 末男、北村 幸彦、戸田 昭寿、
 鶴海 英三郎、中山 登

メイクアップ
 遠藤 立一 10/14 東京多摩RC
 高野 範城 10/14 東京西南RC

◎会務報告 会長 吉澤 洋景
 社会奉仕委員長の小林さんより、活動計画をかねてお願
 いがあるそうですから、よろしくお願ひ致します。
 会務報告としては特にございません。

◎社会奉仕委員会 委員長 小林 和夫

ドリームコンサートの募金をありがとうございました。
 11月2日、パルテノン多摩にて開催されますので、皆様は
 非参加して下さい。また10月29日の最終例会の時、本日の
 ように募金をお願い致しますのでよろしくお願ひ致します。
 なお、書き損じハガキの回収にも合わせて御協力下さい。
 吉澤会長より：ドリームコンサートは入場無料でもあり大

◎幹事報告 幹事 村上 久
 東京武蔵府中ロータリークラブの移動例会が行なわれま
 す。サントリー武蔵野ビール工場・10月31日・PM6:00よ
 りとなっております。

委員会報告

東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長：吉澤 洋景 委員：福島 達也・伊澤ケイ子
 幹事：村上 久 加藤喜三郎・小泉 博
 会報委員長：田畑 博 大熊 将夫・宿院 利幸
 副委員長：中山順一郎 高村 弘
 例会場 京王プラザホテル多摩 (たまつばき)

事務局：東京都多摩市落合1-43
 京王プラザホテル多摩 561号
 TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491
 例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

勢の方が来てくれる事が励みにもなりますので、御時間のある方は是非いらして下さい。

◎会報委員会 委員長 田畑 博

本日の週報は、10月19日の移動例会のため、10月29日に同時発行とさせていただきます。なお、10月1日の週報の卓話の中で「国成留学生」とあるのを国費留学生と訂正して頂くと共に、10月8日の週報で点鐘の記入が間違っております。申し訳ありませんが訂正させていただきます。

◎親睦委員会 佐伯 和廣

移動例会のホテルの部屋割りはフロントにありますので到着されたらフロントで確認して部屋でくつろいで下さい。

◎写真同好会より 佐伯 和廣

昨日、移動例会での写真場に行ってきました。紅葉は赤のみで黄色はまだ出ていませんでした。見頃は今月末頃となるでしょうか。撮影に参加される方は昨日の朝0℃でしたので、寒さの予防をして下さい。足元は普通で大丈夫です。なお、昨日写した写真があります。ポイントを希望の方は、参考にして下さい。

◎職業奉仕委員会 委員長 横倉 舜三

本日、例会後、野村證券様の会議室にて、「絆工房」を行います。本日は小城さんをお願いしてありますので、よろしくお願い致します。

◎誕生日・結婚記念日のお祝い

親睦活動委員会 根本 泰守

結婚記念日 海野 榮一、小泉 博、小林 和夫、
藤本 吉文、遠藤 二郎、山崎 光一、
横倉 譲、杉山 英巳、杉田 誠
誕生日 伊澤ケイ子、遠藤 立一、横倉 譲、
田中 寛、大松 誠二
奥様 田中 タツ、小泉 寿子、山崎 博子、
関岡 知恵子

ハッピーバースデーおめでとございました。

◎分区水泳同好会より 宮本 誠

10月24日(金)PM6:00より稲城の金子スイミングで同

好会が行なわれます。泳げなくても大丈夫です。教えてもらえますし、足も立ちます。誰でも参加して下さい。

女性大歓迎です。!!事務局の西川さん迄申し込んで下さい。



◎卓話 「宇宙開発について」

元宇宙開発事業団・参事 黒田 泰弘様

— 本日の卓話の黒田さんは、まず、御自分の声に関してのお話からはじめられました。先日、目医者に読書用のメガネを作るため診察に行った所、その目医者さんが女医さんだったそうです。黒田さんの声を聞いて「喉頭ガンの検査をされたらよろしいですよ」と言われたそうです。黒田さんはその前に、大塚のガン研で精密検査を受けられて、声が悪いのはガンではなく、骨のズレによるもので生まれつきのものであるのでしかたがない、という検査結果がありましたのでその説明を女医さんにした所。「それではどうしようもない」と言われたそうです。黒田さんは、女医さんという人はハキハキして物事をハッキリ言うとおっしゃっておりました。

本日この例会で行なわれました。誕生日・結婚記念日のお祝いについても、海外ではよく行なわれているようですが、日本ではめずらしい事で感激して頂けたそうです。黒田さんも昨年、結婚50周年を迎えられ、金婚式をされたそうですが、金婚式などを終えると、何か、する事もなくなり今は、テレビを見る事が多いそうです。特に野球をごらんになるのがお好きだそうで、お友達の方が「パリーグ」の事務局をなされていた頃はどこの球場にも出掛けられたそうですが今はテレビの方が多いようです。

このロータリーの例会の中で話が出来て黒田さんは、御自身の時間の有効利用となりロータリーに感謝します。という私たちにとっては非常にありがたい言葉のあと「本題」に入られました。 —

本日の、「宇宙開発について」の題ですが、非常に幅の

拡い題となっておりますので、むしろ本題よりは脇道に入ってしまう事もありますのでお許し下さい。

はじめに「宇宙」とはどういう言葉か、という話からはじめさせていただきます。「宇宙」という言葉が最初に使われたのは「淮南子」(エナンジ)という今から2千年ばかりの昔の(紀元前2百年以上昔)歴史の本があり、この本の中に出てくるのです。

「宇」とは、

「天地四方」 — 広がり — 「空間的」

「宙」とは、

「古往今来」 — 昔から未来へ — 「時間的」

のような意味を持ち、時間的にも限りのない、空間的にも限りのない、それをまとめて「宇宙」というようです。非常に雄大といえますか、西洋にも「ユニバース」・「スペース」という言葉がありますがそれよりも哲学的な、いかにも東洋だという感激する言葉です。

我々の住んでいる地球も、もちろん宇宙の中にあり、地球と宇宙のつながりについて話をさせていただきますと、ヒモの両端に赤いリボンがあり、リボンの間隔が1メートル30センチ(130cm)あります。この130cmという数字は地球の直径が1万3千キロ(13,000km)ですから1千万分の1(1/10,000,000)という事になります。人類の生活の本拠地というのは、ジェット機に乗って1万メートル上空に昇ったとしてもこの130cmの円の中ではたった1ミリメートル(1mm)の所であり、少し太い線を書いたら重ってしまうほどなのです。にもかかわらず地球を見下せて風景がよい、生活の本拠地として環境の良い所を探しますが、地球規模でみますと非常にせまいのです。

哲学的な話になりますが、自分の姿を見ようと思えば、はなれて鏡を見よ、はなれて自分を振り返る、ということが私は、宇宙開発の原点の一つではないかと思っています。

初めてのロケットの打ち上げを種ヶ島で行った時、非常に打ち上げ反対がありまして、ロケットを打つと魚が逃げ採れなくなるという理由ですが、ロケットの燃えカスが落ちる所を危険区域として決めましたが反対の人たちは、どこまでも反対して、区域線を1メートルでも出れば危険区域外だから打て!!、と言われましてもこれでは打てる訳はなく、こまりました。新聞には「科学以前の問題」とありますがこういう過程を経て、ロケットを打てるようにな

りました。

日本の宇宙開発は、非常に平和利用的な考えであり、戦争のためには絶対使わないという立場ですが、しかし世界では宇宙開発の最大の目的は、国家の安全保障と、いつでも攻撃出来る用意、つまり宇宙よりの攻撃という事です。原子爆弾と宇宙とは切っても切れないつながりを持っています。特に米・ソが非常に発達したことは、こういう事柄によるものなのです。今、ソビエトが崩壊したあと、アメリカがリーダーシップを取るために動いている訳です。日本が行ったロケット打ち上げも軍事的な意味で紹介され、日本は反論しましたが、とうてい認められるものではないです。日本のように防衛庁に宇宙技術を使わせない、などと言ってもそんな事は信用出来ないし、だれも信用するとは思えません、防衛庁が観測衛星を使おうとすると、「スパイ衛星」とすぐ新聞に出ますけれども、又、中国と外国は日本に対して軍事復活と言っていますが、そんなことはないです。当然こういう事は常識となっているのですから。

平和利用に使えない軍事技術ではまた、ダメだと思えます。よく私は、刺身包丁を例にしますが、いい包丁は人間も殺せます、刃のこぼれたサビた包丁では人も差せませんが刺身もうまい訳がありません。

もう一つ、「つばさのかげら」を読んだ友達の、久米豊さんが新聞の中で感想を書いていますが、これは児童図書ですが年を取られた方、特に戦争体験をされた方はぜひ読んで自分の子供、孫にもおつたへ頂きたい、又、「日本ロケット物語」という本の中に一応の事が書いてありますので、お時間あればお読みになって頂きたいと思います。

大変時間も超過致しまして申し訳ございませんでした。

—— 黒田さんは、本日の卓話についてロータリーの田中会員よりたのまれて、田中会員には「ノー」と言えないので話べたですがよろしくとの話もあり、黒田さんはビデオを、お使いになりたかったそうですが田中会員より「費用が高い」と言われ本日は130cmのヒモの小道具まで用意して頂きました。ありがとうございました。

◎お礼

会長 吉澤 洋景

◎点鐘

会長 吉澤 洋景

(今週の担当 小泉)